

# BIBLE + MESSAGE

自分の敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。

(マタイ 5章 44節)

右の記事のなかでも紹介した聖書のみことばです。これは、イエス・キリストが山の上で弟子たちに語られた教えの一つです。自分を愛してくれる人を、愛することはできるかもしれません。しかし、自分の敵、自分に害を加える者を愛することなど、果たしてできるのでしょうか。これは、人間の力では到底できることではありません。しかし、キリストご自身は、敵をも愛する究極の愛の実践として、十字架の上で死んでくださったのです。人々は十字架にはりつけにされたキリストを見て、ののしり、あざ笑いました。しかし、苦しみのなかにあって、キリストは「父よ。彼らをお赦してください。彼らは何をしているのか自分でわからないのです」と祈られたのです。キリストの十字架をとおして、愛とは何であるかを神ご自身が示してくださいました。敵をも愛する愛は、キリストの十字架を知らなければ、理解することができない愛なのです。



- ◆名鉄バス「日名町」前
- ◆愛知環状鉄道「北岡崎駅」から西へ徒歩3分
- ◆アピタ北岡崎店 筋向かい



スマホで上記のQRコードを読み込むと地図を表示できます。

【日曜学校】日曜：午前 10 時～ 10 時 45 分 【礼拝】日曜：午前 11 時～ 12 時半  
【午後の集会】日曜：午後 3 時～ 4 時半 【聖書研究会】木曜：19 時半～ 21 時

## 聖書を読んだ日本人

NHK大河ドラマ「西郷(せいご)どん」をご覧になられている方も多いと思います。この記事を書くにあたり、遅ればせながら、私もこれまでに放映されたあらすじをホームページで視聴しました。いや、実に面白いですね(笑)。渡辺謙さん演じる島津斉彬が、かつて見かけた「薩摩のやつせんぼ」が吉之助(西郷隆盛)だったことを知り、「大きくなったなあ」と語りかけるシーンは、感動ものでした。もちろんドラマですので、史実と異なるところが多分にあるのでしようけれども…。

さてさて、そんな幕末の時代を生きた西郷隆盛ですが、近年、実は聖書を読んでいたことが明らかになったそうです。2008年の暮れに、鹿児島市上竜尾町にある西郷南洲顕彰館で「敬天愛人と聖書展」が開かれ、西郷隆盛と聖書の関係に言及するさまざまなエピソードが紹介されました。館長の高柳氏は、西郷が側近に漢訳聖書を貸し与えた、という記事があることから、西郷が聖書を手に入れて読んでいたことは確かだ、と述べています。



隆盛が読んでいたものと同じ漢訳聖書

「南洲翁遺訓」という本がありま す。そのなかに「天は人も我も同一に愛し給うゆえ、我を愛する心があるのですが、これは聖書のなかに繰り返し記されている「あなたを隣人をあなた自身のように愛せよ」という教えに酷似しています。

西郷が残したことを記録した「次号へ続く」

す。また、彼は降伏した敵方の武将に対して寛大な処置を取ったことがありました。戊辰戦争の原因となった薩摩藩邸焼き討ち事件では、犯人である庄内藩藩士をとがめることをせず、きわめて寛大な処置を取ったのです。これもまた「自分の敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい」との聖書の教えに通じるものがあります。また、西郷が聖書を教えていたというエピソードもあるそうです。



西郷 隆盛  
(さいごう たかもり)  
1828年～1877年